

JA 営農情報

№359 令和7年 8月号

水稻の害虫防除

■斑点米カメムシ類

8月に入り、これから極早生品種を先頭に出穂期を迎えますが、それに伴って斑点米カメムシ類が水田に入ってきます。大阪府からも斑点米カメムシ類の発生が『平年よりやや多め』という予報が出ておりますので、適期の防除を心がけましょう。



○防除方法

斑点米カメムシ類の薬剤防除は、主に『キラップ粒剤』『スタークル豆つぶ』の2剤です。それぞれ散布適期や散布方法が異なりますので、注意してください。

農薬名	散布適期	10a あたり散布量	散布方法
キラップ粒剤	出穂 10 日 前 ～ 出穂期	3kg (1 袋)	本田に均一散布
スタークル豆つぶ	出穂 後 7～10 日	250g (1 袋)	畦畔から散布 (自己拡散)

また、出穂期より前は周辺の雑草地に生息しているため、畦畔や近くの雑草地などの草刈りをこまめに行い被害の抑制に努めましょう。ただし、出穂の前後2週間は草刈りを控えて、水田内にカメムシが侵入しないように努めてください。

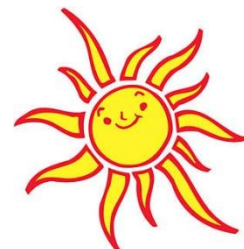
■トビイロウンカ

日本では令和2年に大量発生し、茨木市内でも大きな被害が出たトビイロウンカですが、日本には生息しておらず大陸から偏西風に乗って飛来してきます。稲に寄生すると爆発的に増加して吸汁し、広範囲にわたって稲を枯死させる『坪枯れ』を起こします。

近年は飛来が少ないことや、ウンカ類に効果的な箱剤の普及により大きな被害は出ていません。また、現時点で飛来している個体については上記の薬剤を散布することで、斑点米カメムシ類との同時防除が可能です。



熱中症に注意！



暑さが厳しい日々が続いており、8月以降も猛暑が予想されます。水田
畦畔の草刈りや夏野菜の収穫など農作業が忙しい時期ではありますが、下
記を参考にしながら熱中症にならないように充分注意してください。

- ①日中の作業は避ける できるだけ早朝や日没前の比較的涼しい時間帯を選んで作
業するようにしましょう。
- ②水分や塩分を補給する 水筒や塩分タブレットなどを携帯し、いつでも補給できる
ようにしておきましょう。
- ③休憩をこまめにとる 少しでも疲れを感じたら、無理をせずに日陰や室内など涼
しいところで休憩してください。

熱中症の疑いがある場合はすぐに作業を中断して休憩し、症状の改善が見られない場合は
速やかに医療機関を受診してください。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。
直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくか
ご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。
少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？
詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔月第2木曜日	税 務 相 談 隔月第4金曜日	ローン・資産・介護相談
8月	——	22日	下記店舗にて随時受付しておりますので、 お気軽にお問い合わせください。
9月	11日	——	
10月	——	24日	
【実施場所】JA茨木市 本店3階 小会議室 【受付時間】午後1時～午後4時 ※定員は3名ですので、事前にご連絡ください。 総務課 広報ふれあい係 TEL：627-7768			○ローン・資産相談 JA茨木市 各支店 ○介護相談 介護支援センター（TEL：627-7767）



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL：641-9150
【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL：641-9050